

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第12号
(R7.10.2)

坂田小学校
校長 金城美奈子



日頃の学習の成果を堂々と披露！！ ～坂田っ子発表会～

9月28日(日)、全校児童による「坂田っ子発表会」が行われ、歌や手話、音読、音楽劇、合唱、合奏など、学年ごとの特色ある発表が披露されました。

1年生は初めての発表会ながら、元気いっぱいに成長した姿を見せ、「夢を育てます！」という力強い宣言が印象的でした。2年生は『スイミー』を題材に、声や動きを工夫して臨場感たっぷりに表現。3年生は「友達って」の群読や合唱奏で、心をそろえた迫力ある発表を見せてくれました。4年生は自然や仲間とのつながりをテーマに、歌と楽器で心をつなげた演奏を披露。5年生は美しいハーモニーと心に響く群読で、聴く人の心を打ちました。6年生は「平和の花を心に咲かせたい」というメッセージを込めた群読と合唱で、最高学年らしい感動のステージを見せてくれました。どの学年も、練習の成果を発揮し、堂々とした姿で観客を魅了しました。保護者の皆様からも温かいお言葉をいただき、子どもたちの大きな励みとなりました。ご声援ありがとうございました。また、当日の運営に際しましては、PTA役員の皆様をはじめ、多くの保護者の皆様にご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。皆様のお力添えのおかげで、子どもたちにとって思い出深く充実した発表会を無事に終えることができました。誠にありがとうございました。



～学校ボランティアに感謝～



6年生の家庭科の授業の一コマを紹介します。現在6年生は、家庭科でナップザックを作成しています。慣れないミシンを使っての作成ですが、学校ボランティアの力添えがあり、一人一人が、自分の力で、集中して望むことができています。作業の中で、難しい工程もあり、試行錯誤する中で、友達の力をかりて一緒に乗り越える場面もありました。完成したナップザックを手にした子ども達からは「早く持って帰りたい」「修学旅行に持っていくのが楽しみ」などの声が聞こえてきました。嬉しそうな表情がとても印象的でした。

【ミシンのボランティアに入って下さる方々】
仲里恵子さん、山城愛さん、安木かほりさん、高山千和さん、古賀日奈子さん



感謝

～児童朝会「目の大切さ」～

10月1日(水)、保健委員児童による「目に大切にしよう」の発表が行われました。坂田っ子の健康診断結果のクイズでは、全体で310名の児童が視力1.0以下であり、最も多い6年生では70名もいることに驚きの声が聞かれました。しかし、1.0以下で受診が必要な児童が眼科を受診した件数は、現在のところ40名程度となっており、多くの児童が視力低下をそのままにしている現状がみられます。

視力低下は学年が上がるにつれて悪化しています。眼科受診をすることで、治療を行い視力が改善する場合や、眼鏡を処方され児童の見える世界が広がり学習への理解がさらに深まります。西原町では、OWNDDAYSと提携して無料で眼鏡を作成できるチケットも配布しています。ぜひ、早めに受診していただきます様、よろしくお願い致します。

